

教育出版 音楽 I Tutti+ (音 I 701)

芸術科「音楽 I」 シラバス	単位数	2 単位	担当者	
	学科・学年・学級		科 第	学年 組
	使用教科書・副教材等		音楽 I Tutti+	

1 教科の目標（講座のねらい）

- ・音楽の幅広い活動を通して、生徒が個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を育成し、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。
- ・音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。
- ・音や音楽を知覚・感受して、思考・判断し表現する音楽活動の過程を通して、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。
- ・音や音楽と生活や社会との関わりについて考え、音環境への関心を高め、音楽の知的財産権を尊重する態度の形成を図る。
- ・中学校音楽科の学習を踏まえ、楽曲固有のよさや美しさなどを味わうだけでなく、文化的・歴史的背景など広い視野で音楽を捉えて、我が国及び諸外国の音楽文化への理解を深める。

2 育てたい生徒像

「音楽 I」では、生涯にわたって主体的に音楽を愛好していこうとする心情の育成を重視したい。そのためには生徒一人一人が個性を生かして音楽の幅広い活動を行い、音楽のよさや美しさなどを感じ取って、そこに価値を見いだすことのできる感性を高めていくことが重要である。また、中学校音楽科の学習を踏まえ、思いや意図をもって表現したり味わって聴いたりする力を深化させていく。

特に、生徒が日頃から親しんでいる音楽のみを経験するのではなく、我が国及び諸外国の様々な音楽を授業の中で幅広く学習することで、音楽の文化的・歴史的背景、作曲者及び演奏者による表現の特徴、音楽の伝承方法、表現方法、様式など多様な観点から固有の価値について捉えられるようになり、音楽の多様性を理解し、音楽的視野を広げて、音楽文化についての理解が深めていくことができる。

これらの力が、総合的に作用しあうことで豊かな情操が育まれ、望ましい人格の完成が目ざされる。

3 授業の内容と学習方法

- (1) 曲想を歌詞の内容や背景と関わらせてイメージし、曲種に応じた発声の特徴を生かして様々な表現形態による歌唱表現をする。
- (2) 曲想を楽曲の背景と関わらせてイメージし、和楽器やリコーダー、ギターなどの基礎的な奏法を身に付け、独奏や重奏、合奏など様々な表現形態による器楽演奏をする。
- (3) 音階を選んで旋律をつくり、副次的な旋律や和音などを付ける活動、音素材の特徴を生かし、構成を工夫する活動、変奏や編曲など、イメージをもって幅広い創作活動をする。
- (4) 音楽史に沿って各時代の特徴や、曲の文化的・歴史的背景を学んだり、鑑賞した舞台芸術作品から表現活動を行ったりして、音楽の多様性や美しさ、他芸術との関連などに気づく。
- (5) 西洋音楽や日本の伝統音楽、世界の各地域の諸民族の音楽の特徴を知り、音楽のよさや美しさなどを感じ取って、共通性・固有性などに気づき、自分なりの価値を見いだしながら鑑賞する。
- (6) 音楽を形づくっている諸要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、それらが楽曲をどのように特徴づけているかに気づき、思考・判断して創造的な表現、鑑賞を行う。

年間指導計画・評価規準例

学 期	月	時 数	題材名	学習のねらい	学習 領域 分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 （自作教材を含む）	評価規準例			学習指導要領																						
										A 表現										B 鑑賞					〔共通事項〕							
										(1) 歌唱					(2) 器楽					(3) 創作							(1) 鑑賞					
										ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識								
											(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)						(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)
								知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																						
1 学 期	4	3	オリエンテーショ ン ―未知なる音楽 の世界を求めて―	親しみやすいJ-POPの歌 を、二部合唱の楽しみを 味わいながら高校の音楽 学習への意欲を養う。ま た、自分にとっての音楽の 存在を再認識するとともに 様々な音楽に自ら積極的 に関わり、音楽を幅広く 様々な視点から捉えよう とする態度を養う。	歌唱	○校歌 ○君に届くまで ○優しい あの子 ○小さな空 ○平和を我らに ○8声のカノン ○歌声づくりのエクササイズ ◆口絵①Life with Music ◆音楽経験アンケート（自作教 材） ◆あなたにとって音楽とは（自作 教材） ◆Review of Basics①楽譜は音 楽を伝えるメッセージ	【知】様々な表現形態による歌唱 表現の特徴について理解してい る。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使 い方の技能、他者との調和を意 識して歌う技能を身に付け、歌唱 で表している。	音色、リズム、旋律、テクスチュ アを知覚し、それらの働きを感受 しながら、知覚したことと感受した こととの関わりについて考え、ど のように歌うかについて表現意 図をもっている。	親しみやすいJ-POPの歌の二部 合唱、音楽を幅広く様々な視点 から捉えようとするに関心をも ち、主体的・協働的に歌唱の学 習活動に取り組もうとしている。	○																				音色 リズム 旋律 テクスチュ ア 相互の関 連	D.S. コーダ記号 カン 発声 音 楽譜	
		2	イメージをもって 歌おう ―「夏の思い 出」のヒミツを手 掛かりに―	中学校の既習教材である 「夏の思い出」の楽曲の魅 力を探る学習を通して、曲 に対する自己のイメージを 豊かにしたり、他者の音楽 表現に共感したりしながら 歌唱表現を創意工夫する 手立てを学ぶ。	歌唱	◆夏の思い出の魅力を探ろう ○夏の思い出 ○夏は来ぬ ○みかんの花咲く 丘 ◆Review of Basics③音の高さを 表す5本の線 ◆楽典	【知】「夏の思い出」の曲想と音楽 の構造や歌詞との関わりにつ いて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉 の発音、身体を使い方などの技 能を身に付け、歌唱で表してい る。	音色、リズム、速度、旋律、強 弱、形式、構成を知覚し、それら の働きを感受しながら、知覚した ことと感受したこととの関わりに ついて考え、どのように歌うかに ついて表現意図をもっている。	「夏の思い出」の曲想と音楽の構 造や歌詞との関わりに関心をも ち、主体的・協働的に歌唱の学 習活動に取り組もうとしている。	○	○																			リズム 速度 旋律 強弱 形式 構成 相互の関 連	速度記号 強弱記号 フレーズ 休符 プレス リピート記号 フェルマー タ 二部形式	
		3	日本歌曲を歌お う ―言葉とフレー ズの関わりに着 目して―	日本語の抑揚や間、語 感、歌詞としてのまとまり が旋律の流れやフレーズ にどのように表され、曲想 を生み出しているかに関 心を持ち、自己のイメージ をもって歌唱表現を創意 工夫する。	歌唱	○この道 ○浜辺の歌 ○椰子の実 ○歌声づくりのエクササイズ	【知】曲想と音楽の構造や歌詞と の関わり、言葉の特性と曲種に 応じた発声との関わりにつ いて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉 の発音、身体使い方などの技 能を身に付け、歌唱で表してい る。	音色、リズム、速度、旋律、強 弱、形式、構成を知覚し、それら の働きを感受しながら、知覚した ことと感受したこととの関わりに ついて考え、どのように歌うかに ついて表現意図をもっている。	日本語の抑揚や間、語感、歌詞 としてのまとまりが旋律の流れや フレーズにどのように表され、曲 想を生み出しているかに関心をも ち、主体的・協働的に歌唱の学 習活動に取り組もうとしている。	○	○	○																		リズム 速度 旋律 強弱 形式 構成 相互の関 連	速度記号 拍子記号 強弱記号 フレーズ テヌート メゾ・スタッ カート 五線譜 音部記号	
	5	2	言葉を生かして 旋律をつくろう ―日本語の言 葉の特性に基づ いて―	「日本歌曲を歌おう」の学 習成果を踏まえて、日本 語の言葉の特性に関心を もち、抑揚、アクセント、リ ズムなどの言葉の特徴を 感じ取り、自己のイメージ をもって旋律をつくる。	創作	◇音のスケッチ①言葉を生かし て旋律をつくろう ◆Review of Basics④音の長さを 表そう ◆楽典	【知】音の連なり及び構成上の特 徴について、表したいイメージと 関わらせて理解している。 【技】日本語の抑揚、アクセント、 リズムなどの言葉の特性を生か して旋律をつくる技能を身に付 け、創作で表している。	リズム、旋律、強弱、構成を知覚 し、それらの働きを感受しなが ら、知覚したことと感受したこと の関わりについて考え、どのよ うに旋律をつくるかについて表現 意図をもっている。	日本語の抑揚、アクセント、リズ ムなどの言葉の特性を感じ取り、 自己のイメージをもって旋律をつ くるに関心を持ち、主体的・協 働的に創作の学習活動に取り組 もうとしている。												○	○								リズム 旋律 強弱 構成 相互の関 連	音符 休符 調 音の長さ	
		2	西洋音楽の源 流を耳でたど う ―中世・ルネサ ンスの音楽―	キリスト教と結びついて発 展してきた西洋音楽の源 流を中世からルネッサ ンスの音楽の鑑賞と文化 的・歴史的背景の学習で 辿り、そのよさや美しさを 自ら味わって聴く。	鑑賞	◆西洋音楽の源流を耳でたど う ◎グレゴリオ聖歌「パンジェ・リン グァ」◎オルガヌム「地上のすべ ての国々は」◎ミサ・パンジェ・リ ングァから「キリエ」◎鳥の歌 ◆音のスケッチ③音階 ◆西洋音楽史	【知】曲想や表現上の効果と音楽 の構造との関わり、音楽の特徴 と文化的・歴史的背景との関わり について理解している。	音色、旋律、テクスチュア、構成 を知覚し、それらの働きを感受し ながら、知覚したことと感受した こととの関わりについて考える とともに、自分や社会にとっての音 楽の意味や価値、音楽表現の共 通性や固有性について考え、音 楽のよさや美しさを自ら味わって 聴いている。	西洋音楽の源流を中世からル ネッサンスの音楽の鑑賞と文化 的・歴史的背景の学習で辿るこ とに関心を持ち、主体的・協働的 に鑑賞の学習活動に取り組もう としている。																○	○	○	○			音色 旋律 テクスチュ ア 構成 相互の関 連	聖歌 教会旋法 メリスマ 声部 定旋律 オルガヌム ミサ シャンソン
		3	歌の旅に出よう Ⅰ ―イタリアの民 謡や歌曲―	イタリア語の言葉の特性と 旋律やリズム、曲の構成 などとの関わりに関心をもち 、言葉の抑揚や言語の もつ質感を捉えながら表 情豊かに歌う。	歌唱	◆イタリア語に挑戦！ ○我が太陽 ○Caro mio ben ○ Santa Licia ◆Review of Basics⑤音の強さを 表そう	【知】曲想と音楽の構造や歌詞と の関わり、言葉の特性と曲種に 応じた発声との関わりにつ いて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉 の発音、身体使い方などの技 能を身に付け、歌唱で表してい る。	音色、リズム、旋律、強弱、構成 を知覚し、それらの働きを感受し ながら、知覚したことと感受した こととの関わりについて考え、ど のように歌うかについて表現意 図をもっている。	イタリア語の言葉の特性や曲に ふさわしい発声で表情豊かに歌 うことに関心を持ち、主体的・協 働的に歌唱の学習活動に取り組 もうとしている。	○		○																			音色 リズム 旋律 強弱 構成 相互の関 連	速度記号 強弱記号 カンツォーネ ハバネラ イタリア民謡

[illegible]

年間指導計画・評価規準例

学期	月	時数	題材名	学習のねらい	学習領域分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 (自作教材を含む)	評価規準例			学習指導要領																					
										A 表現										B 鑑賞				〔共通事項〕							
										(1) 歌唱			(2) 器楽				(3) 創作			(1) 鑑賞											
										ア 思考 判断 表現	イ 知識		ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識		ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識		ア 思考 判断 表現	イ 知識						
										(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)			(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)					
2 学期	9	2	自分がつくった旋律で変奏曲をつくろう ―音楽を形づくっている要素のはたらきと効果―	次の題材である変奏曲の魅力を探求する学習の前段階として、音楽を形づくっている要素について学習する。また、1学期に学習した「言葉を生かして旋律をつくろう」、夏休みの課題として取り組んだ「循環コードで音楽をつくろう」の成果を活用して要素の働きを変化させて変奏曲を創作する。	創作	◆音のスケッチ②音楽を形づくっている要素 ◎きらきら星変奏曲 ◆楽典	【知】音の連なりや重なりによる響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。 【技】音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編曲をする技能を身に付け、創作で表している。	リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	自分がつくった旋律を活用して音楽を形づくっている要素の働きを変化させて変奏曲を創作することに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。																			リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成 相互の関連	音楽を形づくっている要素 変奏		
			2	変奏曲の魅力を探ろう ―バガニーニが残した名変奏曲―	音楽の根本的な技術である変奏の技法に関心をもち、主題の変化や作品の特徴が音楽の構造とどのように関わっているかを理解し、他の変奏曲と比較して聴くことにより音楽表現の共通性や固有性について考える。	鑑賞	◆変奏曲の魅力を探ろう ◎24の奇想曲(カプリス)から第24番 ◎バガニーニ大練習曲集 ◎バガニーニの主題による狂詩曲 ◆Review of Basics⑦拍子とは何だろうか？ ◆楽典 ◆西洋音楽史	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	主題の変化や作品の特徴が音楽の構造とどのように関わっているかに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。																			音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成 相互の関連	変奏曲 奇想曲 主題と変奏 狂詩曲	
			3	古の音楽に思いをはせよう ―雅楽、悠久の響き―	雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、雅楽固有の特徴が日本人の音感覚や美意識、他の文化・歴史と関わりながら育まれてきたことを理解し、そのよさや美しさを自ら味わって聴く。	鑑賞	◆古の音楽に思いをはせよう ◎Review 越天楽 □双調 酒胡子 ◎雅楽「蘭陵王」◎長唄「京鹿子娘道成寺」◎尺八曲「巢鶴鈴慕」◎箏曲「千鳥の曲」◎能「安宅」 ◆音のスケッチ⑦テクスチャ ◆日本音楽史	【知】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管弦の響きに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。																			音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 構成 相互の関連	雅楽 管弦 舞楽(左舞、右舞) 序破急 唱歌 長唄 能	
		4	アンサンブルを楽しもう ―リコーダーかギターを選択して―	リコーダーまたはギターのどちらかを選択し、各楽器の奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動の楽しさを味わう。	器楽	【リコーダー選択者】◆Start Up ! Playing the Recorder □ベツォールのメヌエット □いつも何度でも □Jupiter □カノン集 ◆リコーダー運指表 【ギター選択者】◆Start Up ! Playing the Guitar □弾き語りに挑戦しよう: 翼をください □カノンによるギター・エチュード □ソナタK.331によるギター二重奏 □茶色的小びん □「第三の男」のテーマ ◆ギター&キーボード・コード表 【アンサンブル選択教材】□Greensleeves □「L'inverno」冬」か	【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わり、様々な表現形態による器楽表現の特徴について理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。	リコーダーまたはギターのどちらかを選択し、奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながらアンサンブル活動をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。																					音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成 相互の関連	サミング タンギング メヌエット ストローク奏法 カポタスト アポヤンド アル・アイレ
			2	オーケストラの魅力を探ろう ―二つの旋律から広がる音楽―	オーケストラの様々な楽器の音色や響き、またボレロのリズムの繰り返しに乗せた二つの旋律が様々な楽器やその組み合わせによって展開されながらもたらず表現上の効果を理解し、そのよさや美しさを自ら味わって聴く。	鑑賞	◆オーケストラの魅力を探ろう ◎バレエ音楽「ボレロ」 ◆楽器音域表 ◆オーケストラの配置例 ◆作曲家年表 ◆音楽史と史実	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	オーケストラの様々な楽器の音色や響き、またボレロのリズムに乗せた二つの旋律が展開されながらもたらず表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。																					音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 構成 相互の関連

年間指導計画・評価規準例

学期	月	時数	題材名	学習のねらい	学習領域分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 (自作教材を含む)	評価規準例		学習指導要領																					
									A 表現												B 鑑賞				〔共通事項〕					
									(1) 歌唱						(2) 器楽						(3) 創作						(1) 鑑賞			
									ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識	ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識							
(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)										
		2	吹奏楽の魅力を味わおう ―鯨のモチーフが紡ぎ出す雄大なドラマー―	吹奏楽の様々な楽器の音色や響き、また繰り返し現れるモチーフの変化と曲想や表現上の効果との関わりを理解し、そのよさや美しさを自ら味わって聴く。	鑑賞	◆情景を思い浮かべながら聴こう ◎三つの交響的素描「青い水平線」 ◆楽器音域表 ◆ウィンド・オーケストラの配置例	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	吹奏楽の様々な楽器の音色や響き、また繰り返し現れるモチーフの変化と曲想や表現上の効果との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。																		音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 構成 相互の関連	吹奏楽 交響詩 モチーフ		
	11	3	歌の旅に出ようⅢ ―ドイツ歌曲の魅力―	ドイツ語の言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し、アクセントや子音・母音の扱い、語感の違いなどを生かして自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫する。	歌唱（鑑賞）	◆ドイツ語に挑戦！ ○野ばら（シューベルト）◎Review 魔王 ◆シューベルトの歌曲 ◎春の夢 ◆Review of Basics⑥＃♭の役割 ○野ばら（ヴェルナー）○春への憧れ	【知】言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏について考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えて聴き、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	ドイツ語の言葉の特性や曲にふさわしい発声を意識し、自己のイメージをもって歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○		○		○											○		○		音色 リズム 速度 旋律 強弱 形式 構成 相互の関連	転調 リート 臨時記号
		2	交響曲の魅力を探求しよう ―ベートーヴェン最後の交響曲―	ベートーヴェンの交響曲第9番第1楽章を通して、オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさを味わいながら聴く。	鑑賞	◆ベートーヴェン最後の交響曲 ◎交響曲第9番から第1楽章 ◆ワンポイント！用語解説 ◆楽器音域表 ◆西洋音楽史	【知】曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	オーケストラの響きや、ソナタ形式において主題が展開されたり再現されたりするおもしろさに関心を持ち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。																○		○		音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 形式 構成 相互の関連	形式 構成 交響曲 ソナタ形式
		4	混声合唱を美しく響かせよう	混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌う。また、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫する。	歌唱（鑑賞）	○南海譜 ○フィンランディア讃歌 ○よろこびの歌 ○ぜんぶ ◆◇音のスケッチ④和音、和声 ◆合唱の響きを味わおう ◎アヴェ・ヴェルム・コルプス K.618	【知】曲想と音楽の構造や歌詞との関わり、様々な表現形態による歌唱表現の特徴、曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりについて理解している。 【技】他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。	音色、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとつての音楽の意味や価値を考えて聴き、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	混声合唱の響きを味わいながら他者との調和を意識して歌うことや、曲想が歌詞の内容や作曲者の思いなどによってもたらされていることを理解しながら歌唱表現を創意工夫することに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○		○		○	○								○		○		音色 速度 旋律 テクスチュア 強弱 相互の関連	速度記号 強弱記号 讃歌	
	12	2	2学期の音楽学習のまとめ	2学期の音楽学習のまとめとして器楽アンサンブルと合唱の発表、独唱のテストを行い、学習内容の定着度を確認する。また、これまでの音楽学習を振り返って自己の課題を確認し、3学期以降の取り組みを考える。 冬休みの課題レポートの事前学習として、資料の調べ方や紹介文、解説文の書き方を知り、音楽を文章や言葉で伝える工夫をする。	歌唱 器楽	◆学習のまとめのワークシート ○□2学期に学習した教材 ◆名曲プレゼンテーション「さまざまな時代のピアノ曲を紹介しよう」（自作教材） ◆さまざまな時代のピアノ曲を聴こう	【知】音楽Ⅰの2学期の学習を通して、表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【技】音楽Ⅰの2学期の学習を通して、技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽で表している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感じしながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱や器楽表現としてどのように表すかについて表現意図をもっている。	2学期の音楽学習のまとめとしての器楽アンサンブルや合唱の発表、独唱のテストに関心を持ち、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	音色 リズム 速度 旋律 テクスチュア 強弱 形式 構成 相互の関連	2学期に学んだ様々な音楽用語、記号など

年間指導計画・評価規準例

学 期	月	時 数	題材名	学習のねらい	学習 領域 分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 (自作教材を含む)	評価規準例			学習指導要領																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
										A 表現									B 鑑賞			〔共通事項〕																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
										(1) 歌唱						(2) 器楽			(3) 創作					(1) 鑑賞																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
										ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能		ア 思考 判断 表現	イ 知識			ウ 技能		ア 思考 判断 表現	イ 知識		ア 思考 判断 表現	イ 知識																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
											(ア)	(イ)	(ウ)				(ア)	(イ)	(ウ)				(ア)	(イ)		(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)	(ア)	(イ)	(ウ)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														

年間指導計画・評価規準例

学期	月	時数	題材名	学習のねらい	学習領域分野	教材 ○歌唱教材 □器楽教材 ◇創作教材 ◎鑑賞教材 ◆知識理解教材 (自作教材を含む)	評価規準例			学習指導要領																				
										A 表現									B 鑑賞			〔共通事項〕								
										(1) 歌唱			(2) 器楽			(3) 創作			(1) 鑑賞											
										ア 思考 判断 表現	イ 知識		ウ 技能		ア 思考 判断 表現	イ 知識		ウ 技能	ア 思考 判断 表現	イ 知識		ア 思考 判断 表現	イ 知識							
知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む態度			(ア)			(イ)			(ウ)			(ア)			(イ)			(ウ)						
	3	3	コンサートを開こう —音楽Ⅰのまとめとして—	1年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施する。音楽Ⅰで学習した教材から選択し、クラス全体での合唱や器楽アンサンブルをしたりしながら、音楽活動の喜びや楽しさを味わう。また、オリエンテーション時に学習した「あなたにとって音楽とは」が、音楽Ⅰの1年間の学習を経てどのように変容したかを考える。	歌唱 器楽 創作 鑑賞	◆音のスケッチ⑨コンサートを企画しよう ○音楽Ⅰで取り扱った歌唱教材 □音楽Ⅰで取り扱った器楽教材 ◇それぞれが作った創作作品 □STAR WARS Main title □Yellow submarine ◆日本の大衆音楽 ○上を向いて歩こう ◆あなたにとって音楽とは(自作教材)	【知】音楽Ⅰの1年間の学習における表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【技】音楽Ⅰの1年間の学習における技能に関する諸事項を身に付け、歌唱や器楽、創作で表している。	音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱や器楽、創作表現としてどのように表すかについて表現意図をもっている。	1年間の音楽学習のまとめとしてコンサートを企画実施することや、音楽Ⅰの1年間の学習を経て自分自身の音楽に対する考え方がどのように変容したかを考えることに関心をもち、主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	音色 リズム 速度 旋律 テクスチャ 強弱 形式 構成 相互の関連	1年間に学んだ様々な音楽用語、記号など